

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 2 年 7 月 27 日 (2020.7.27)

【公開番号】特開 2020-58915 (P2020-58915A)
【公開日】令和 2 年 4 月 16 日 (2020.4.16)
【年通号数】公開・登録公報 2020-015
【出願番号】特願 2020-9776 (P2020-9776)
【国際特許分類】

A 6 1 F 9/007 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 9/007 1 3 0 D

A 6 1 F 9/007 1 6 0

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 6 月 8 日 (2020.6.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

眼の状態を治療するためのデバイスであって

細長部材と、流体組立体と、リニアギアとを備え、

前記デバイスは、前記眼の前房内に前進させられるように構成された遠位端を有し、

前記細長部材は、前記リニアギアおよび前記流体組立体の前進によって第 1 の方向に前記眼のシュレム管内に前進させられるように構成され、前記デバイスは、前進の間に前記リニアギアの近位端と前記流体組立体の遠位端との間の固定された距離を維持するように構成され、

前記細長部材は、格納されるようにさらに構成され、流体組成物は、前記リニアギアの近位端と前記流体組立体の遠位端との間の前記距離を減少させることによる前記細長部材の格納と同時に、前記細長部材を通して前記シュレム管内に送達されるように構成されている、デバイス。

【請求項 2】

前記デバイスは、ハウジングをさらに備え、前記流体組立体は、前記ハウジングに対して、近位にではなく、遠位に移動するように構成されている、請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 3】

前記細長部材は、2 回目前記リニアギアおよび前記流体組立体の前進によって、第 2 の方向に前記シュレム管内に前進させられるようにさらに構成され、

前記細長部材は、2 回目格納されるようにさらに構成され、流体組成物は、前記リニアギアの近位端と前記流体組立体の遠位端との間の前記距離をさらに減少させることによる前記細長部材の第 2 の格納と同時に、前記細長部材を通して前記シュレム管内に送達されるように構成されている、請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 4】

前記流体組立体は、シュレム管内において前記第 1 の方向における前記細長部材の前進の間に第 1 の位置へ遠位に移動するように構成され、前記流体組立体は、シュレム管内において前記第 2 の方向における前記細長部材の前進の間に前記第 1 の位置から第 2 の位置へ遠位に移動するように構成されている、請求項 3 に記載のデバイス。

【請求項 5】

前記細長部材は、前記眼の小柱網の第 1 の長さを裂くようにさらに構成されている、請求項 1 に記載のデバイス。

【請求項 6】

前記細長部材は、前記眼の小柱網の第 2 の長さを裂くようにさらに構成されている、請求項 5 に記載のデバイス。

【請求項 7】

前記細長部材の本体は、前記小柱網を裂くように構成されている、請求項 5 に記載のデバイス。

【請求項 8】

前記ハウジングは、前記細長部材の前進の間に前記流体組立体が前記ハウジングに対して遠位に移動することを可能にするように構成され、かつ前記細長部材の格納の間に前記ハウジングに対して前記流体組立体を固定するように構成されている、歯を備える、請求項 2 に記載のデバイス。

【請求項 9】

前記デバイスは、リンケージをさらに備え、前記リンケージは、前記流体組立体を前記リニアギアに連結する、請求項 1 に記載のデバイス。